

## 長泉町・さわやかハイキング報告書

通算山行NO	個人山行	報告者	増田吉信
年 月 日	2011年4月29日（祝・晴のち曇り）	2万5千円	富士山
山 名	富士山・吉田口		
体力度＝3・普通      技術度＝3・普通      藪漕＝ない      道標＝ある      トイレ＝五合目 展望度＝よい      三角点＝ない			
<h1>4月の富士山訓練</h1>			
コース とタイム	長泉5:00—河口湖口登山口スタート7:15—7合目下(2660m)9:45—下山開始—河口湖口登山口着11:55—長泉着14:00頃 参加費＝2000円＋500円（スバルライン往復＝2000円）		
標 高 差	上り 河口湖口登山口2305m～7合目下2660m＝約325m 下り 同上		
参 加 者	CL後藤隆徳、石和加代子、村上美恵子、増田吉信 合計＝4名		

6月の山行に備えて、初めての富士山訓練に参加をさせていただきました。Mさんの話や、報告書、写真などで過去の山行について見聞きはしていましたが、自分が参加するとなると正直、漠然とした不安もありました。

装備もお借りする予定でしたし、参加者は経験者の方ばかりなので、せめて足手まといにならないよう、前日は十分な睡眠をとり体調は万全で臨ませていただきました。

富士スバルラインの開通が6:00との事もあり、長泉を5:00に出発し、一路河口湖口登山口へ。5合目の駐車場に到着し車から降りると思いのほか肌寒く、ちょっと服装に不安もよぎりましたが、お借りした12本歯アイゼンを装着しピッケルを手に、いざ冬の富士山へ。



今年は雪が多い



雪の表面が若干凍っているようで、アイゼンを履いた靴で歩くと音響などでやるような、セロファンに塩を振りまいたような音が、さらさらと当たりに響きました。経験者のMさんもこんな雪の状態の富士山は初めてとの話をされていたので、内心ドキ

ドキでした。

初めてつけた 12 本歯アイゼンの具合はとてもよく、ざくざくと雪の上を歩く感覚は何ともいえないものでしたが、ピッケルについては前に行くMさん、Iさんの使い方を見ようみまねでちょっとぎこちなく使っていたかもしれません。

(昨年の剣岳山行の際に雪渓を上っていた人たちのイメージがダブりました。)



滑落停止訓練



七合目下で滑落停止の訓練をさせてもらいましたが、最初はどうも思うように体が動かず四苦八苦ししましたが、何とか及第点はいただけましたようです。

ただ、練習の際に滑り降りている感覚と実際に滑っている距離感がなかなかつかめず、ただ単に気持ちばかり焦ってしまい、実際に滑落した際には慌てずに冷静に対処ができるか不安は残りましたが、これも経験を重ねてとの事になるのでしょうか。ただ、滑落しないのが一番だとは思いますが・・・。

その後、再び登山を続けましたが、天候が悪化し、やむなく七合目下付近で下山をする事になりましたが、途中から登山道を登ったので、ある程度は分かっていたつもりですが、いざ下山するとなると足跡は良く分からないし、天候が違っただけあたりの風景もまったく異なるように感じられ、もし一人になったらとてもじゃないが迷ってしまうのではとの思いに駆られました。

(途中、単独行の方にも会いましたが、無事下山できたのかちょっと心配です。)

最後は、駐車場近くの雪渓で後藤さんはスキーを、その他は雪渓の登りをちょっと楽しみましたが、雪山の楽しさと厳しさ・怖さなども体験できた良い訓練だったと思います。

また、機会があれば参加をしてみたいですし、いつかは雪の富士山にも登頂してみたいと感じた一日でした。

(そういえば、一番最初にさわやかハイキングの山行に参加させて頂く際に、はじめて後藤さんとお会いしたのも、当初は富士山訓練の予定が悪天候のため位牌岳登山に変わった訓練の時だったと思いますので、2年の越しの参加になるのかもしれませんが。)



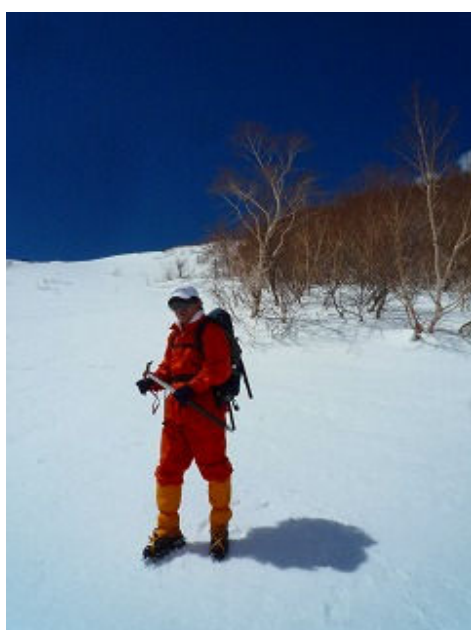
これは誰だ～！



↑→  
M嬢撮影



雪山で笑顔



それ、行け～！！（M嬢撮影）



増田君の雄姿